

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.0
Q1 室内環境			0.30					3.0
1 音環境		3.4	0.15	-	-			3.4
1.1 騒音		4.0	0.40	-	-			
1 室内騒音レベル	床、天井の内装材に吸音性能の高い材料を使用	4.0	1.00	-	-			
2 設備騒音対策		-	-	-	-			
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-			
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-			
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
1.3 吸音		3.0	0.20	-	-			
2 温熱環境		3.0	0.35	-	-			3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-			
1 室温		3.0	0.38	-	-			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能		3.0	0.25	-	-			
4 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-			
3 光・視環境		2.6	0.25	-	-			2.6
3.1 昼光利用		1.8	0.30	-	-			
1 昼光率		1.0	0.60	-	-			
2 方位別開口		-	-	-	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	-	-			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御		3.0	1.00	-	-			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
3.3 照度		3.0	0.15	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-			
4 空気質環境		3.4	0.25	-	-			3.4
4.1 発生源対策		3.0	0.50	-	-			
1 化学汚染物質		3.0	1.00	-	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.30	-	-			
1 換気量		3.0	0.33	-	-			
2 自然換気性能		3.0	0.33	-	-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	-	-			
4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御	建物内全館禁煙	5.0	1.00	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.5
1 機能性		3.1	0.40	-	-			3.1
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-			
1 広さ・収納性	$((1階)103.17m^2 + (2階)119.67m^2) \div 9人 = 24.76m^2/人$	5.0	0.33	-	-			
2 高度情報通信設備対応		2.0	0.33	-	-			
3 バリアフリー計画		1.0	0.33	-	-			
1.2 心理性・快適性		3.3	0.30	-	-			
1 広さ感・景観	事務室天井高2.7m確保	4.0	0.33	-	-			
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33	-	-			
3 内装計画		3.0	0.33	-	-			
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保	維持管理機能を確保できるよう充実した取組みを行っている	4.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.1	0.31	-	-			3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.3	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床20年、壁・天井30年	5.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	屋外露出ダクトにはステンレスダクトを使用	5.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		3.4	0.19	-	-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備	非常用発電設備を備えている 電源設備は浸水の危険性がない	3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		4.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備	光ケーブルを設備する 浸水の危険性がない	3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				4.5	0.29	-	-	4.5
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり	天井高・梁下有効6.0mを確保	5.0	0.31	-	-	
	2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.09 外周壁長278+耐力壁長71.2/専用面積3,833.12	5.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			積載荷重15,000N/m <sup>2</sup>	5.0	0.31	-	-	
3.3 設備の更新性				3.7	0.38	-	-	
3.3 設備の更新性	1	空調配管の更新性	庇上室外機置場、空調配管にも対応十分な天井スペースを確保	4.0	0.17	-	-	
	2	給排水管の更新性	修繕・更新の際には構造部材を痛めずに行うことが可能	4.0	0.17	-	-	
	3	電気配線の更新性	修繕・更新の際には構造部材仕上材を痛めずに行うことが可能	5.0	0.11	-	-	
	4	通信配線の更新性	修繕・更新の際には構造部材仕上材を痛めずに行うことが可能	5.0	0.11	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
	6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.40	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出				3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				2.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	4.1
1 建物の熱負荷抑制				-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用				4.0	0.29	-	-	4.0
2.1 自然エネルギーの直接利用				3.0	0.50	-	-	
	2.2 自然エネルギーの変換利用		太陽光発電パネルを採用	5.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化			高効率な照明設備機器を採用	5.0	0.43	-	-	5.0
集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)			ERR=58.1%	5.0	-	-	-	
集合住宅の評価				3.0	-	-	-	
4 効率的運用				3.0	0.29	-	-	3.0
4.1 モニタリング				3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護				3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水	節水コア・節水型便器を採用			4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.67	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.8	0.63	-	-	3.8
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.07	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.25	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.21	-	-	
	2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用		ビニル床材、断熱材、再生骨材の路盤材	5.0	0.21	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		分別が容易、内装材と設備をそれぞれ取り外しが容易に可能	5.0	0.25	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.22	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.68	-	-	
1 消火剤				-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
	3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮			一般的な建物と比較し81%のライフサイクルCO2排出率	3.7	0.33	-	-	3.7
2 地域環境への配慮				3.2	0.33	-	-	3.2
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				4.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減	指導された規模を上回る雨水抑制施設(浸透樹・浸透管)を設備			4.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制		敷地内に適切な台数分の駐車場を確保し交通渋滞を発生させない	4.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制		室内にゴミ分別回収容器を設置する計画	5.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1 騒音				3.0	1.00	-	-	
	2 振動			-	-	-	-	
	3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵・日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制			1.0	-	-	-	
	3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70	-	-	
	2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	